

大会宣言

健康長寿社会の実現をめざすわが国においては、健康寿命の延伸とともに、地域における高齢者相互の支え合いがますます重要になっています。

各市町では、今年度から3年の間に、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、地域団体や住民の参加による支え合い体制を作ることが必要とされています。

老人クラブでは、閉じこもりを防ぎ、心のつながりを深める友愛活動を実践してきました。これらの活動経験をもとに、老人クラブの組織力を活かした見守りや生活支援の取り組みに期待が寄せられています。

また、多くの高齢者がともに集い、すべての地域に仲間の輪を広げる5か年計画の会員増強運動は、今年2年目の運動を展開しているところです。

平成30年には、本県において「福井しあわせ元気国体」が開催されます。スポーツの感動を広め、未来へつなげる国体を実現するために、県民が一体となった気運の醸成が求められています。

古くから京都や奈良と深いつながりをもつ文化都市、ここ小浜市に集う老人クラブ代表者は、「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」のメインテーマのもと、次の事項の実践を誓い、ここに宣言します。

- 一 福井県老人クラブ「1万人会員増強運動」の展開
- 一 高齢者の日常生活を支える「地域支援活動」への参画
- 一 健康長寿をめざす「健康づくり・介護予防活動」の充実
- 一 消費者被害防止に向けた活動の実践
- 一 高齢者の尊厳が守られる社会保障制度の確立
- 一 国体に向けた「宣言」の実践（平成27年6月16日 会長会議において採択）

平成27年10月21日

第42回 福井県老人クラブ大会